

令和7年度 狭山ケーブルテレビ 番組審議委員会 議事録

日 時 令和8年3月25日(水) 15時～16時30分

場 所 狭山ケーブルテレビ株式会社 本社3階 会議室

出席者 番組審議委員会 《敬称略》吉田 徹弥 委員長

北田奈緒美 委員

出席予定者5名 うち3名欠席

狭山ケーブルテレビ(株) 清水 武信 代表取締役会長

清水 信之 代表取締役社長

大塚 一正 メディア事業部部長

竹内 慎 メディア事業部課長代理

1. 開会(進行 竹内) 配布資料確認
2. 清水社長あいさつ
3. 公式LINEアカウントの運用を開始し、現在の登録者数は3,000件を超えた。
また、企画アンケートを実施し、番組に対する感想を広く収集した。これまで直接意見を聞く機会は限られていたが、一般視聴者から多くの意見をいただけたことは非常に有意義であり、新たな発見にもつながっている。
4. 今後の番組に対する要望も多数寄せられており、これらを踏まえ、多くの方に視聴いただける番組制作を継続していきたい。
5. また、番組審議委員の皆様からも忌憚のないご意見をいただき、今後の番組制作に反映していきたい。
6. 吉田番組審議委員長あいさつ(議事進行)
7. 報告事項
令和7年度コミュニティーチャンネル実績報告(大塚部長)

(1) レギュラー番組

■MASARUのごきげんチャージ

狭山市出身の歌手 MASARU をメイン MC とした情報バラエティ番組。

令和8年4月で放送開始5周年を迎え、好評を得ている。

■さやまの窓

行政・自治会・商工会議所・社会福祉協議会などの協力を得て、地域の取り組みを紹介する番組。来期以降も継続して放送予定。

■気ままにお店めぐり

放送開始 10 年を超え認知度が上がっている
公式 LINE のアンケートでも反響がある番組
開局 30 周年を記念して初代・2 代目の MC が再集結して特別番組として放送した。

■アスリートカフェ

番組審議委員の協力により、令和 7 年 12 月に狭山市ゆかりのアスリート 3 名を招いたトーク番組を放送。今後は「カフェ」をコンセプトに、さまざまなジャンルのゲストを迎えるトーク番組として展開予定。

(2) 開局 30 周年記念番組

■カラオケ大会

SNS 等で一般参加者を募集し、8 歳から 91 歳までの 28 名が参加。
地域住民参加型の番組として高い評価を得た。
今後このような市民参加型企画を定期的にも実施する必要性を再認識した。

■大感謝プレゼント抽選会

市民を対象とした抽選会を生放送で実施。
MC が当選者へその場で電話をかけ、会話を交えながら賞品を提供した。
第 1 回は 1 月 1 日（元日）、第 2 回は 3 月に放送。
視聴者の生の声を直接聞ける点が大きな意義である。
また、「もっとこうしてほしい」といった意見を直接受け取ることで、番組制作のモチベーション向上にもつながっている。

(3) その他

狭山市入間川七夕まつりの生中継を実施
初日は花火大会、2 日目は阿波おどりを中心に放送
YouTube および公式 LINE などの SNS を活用し、主にバラエティ番組を放送終了後 1～2 週間を目安に配信。収益化よりも認知度向上およびブランディングを目的とし、新規加入につなげる施策として運用

8. 質疑応答

【吉田委員長】

(1) 飲食店以外の紹介について

コロナ禍以降、「家飲み」と「外飲み」の中間的なスタイルとして、市民団体が集まり飲食を楽しむコミュニティも生まれている。

飲食店の直接的な支援にはならないかもしれないが、「一般家庭の晩酌を紹介する」といった突撃型の家飲み企画なども面白いのではないかと考えている。

<清水社長>

テレビで飲食店の露出を増やすことで、「実際に行ってみよう」と考える方は一定数いると認識している。

「気ままにお店めぐり」ではこれまで多数の店舗を紹介しており、来店促進への一定の貢献はできていると考える。

また、これまで 100 回以上放送している実績もあり、今後は「狭山の飲食店を検索した際に番組が表示される」など、デジタル上での露出強化も重要であると考えている。

これまで番組を 100 回以上放送している

狭山のお店を検索した時に番組が出てくるような工夫が必要になってくる

(2) アスリートの出演について

さいたまブロンコス理事を務めている立場から、B3 リーグでプレーオフ進出を決めたことを報告。泉秀岳ヘッドコーチは狭山市出身であるため、「アスリートカフェ」への出演機会をぜひ設けてほしい。

<大塚部長> 是非、委員長のご協力をいただきながら番組制作に取り組んでいきたい。

(3) クイズ企画について

「ミュージックパワー」で放送された「頭脳王（クイズ企画）」は非常に興味深かった。高校にはクイズ研究会も存在するため、学生が活躍できる場として、民放のクイズ番組の狭山市版のような企画を検討してほしい。

<大塚部長> 学生に限らず、高齢者を含めた幅広い世代が参加できるクイズ番組の展開も可能であると考えている。

【北田委員】

- (1) 学生参加型番組について
市内の学生が出演するだけでなく、企画段階から関わる番組制作を行ってほしい。
学生が主体的に活躍する姿を見られる番組に期待する。
 - (2) 地域活動の継承について
現在、市内で活躍している方々の高齢化が進んでおり、各地域で団体の存続や後継者不足が課題となっている。
こうした地域団体や活動を取り上げる番組制作を検討してほしい。
 - (3) 卒業式の放送について
小中学校の卒業式は現在も放送しているのか。
<竹内課長代理>
コロナ禍では保護者の参加制限があったため、学校と連携し全校向けに放送を行った。
本年度は小学校 2 校・中学校 2 校の卒業式を撮影し、卒業生の合唱を中心に放送する予定である。
 - (4) 学校関連番組について
学校の取り組みなど、親子で楽しめる番組を制作してほしい。
<竹内課長代理>
視聴者アンケートでは、子ども向け番組の拡充を求める声が多く寄せられている。
まずは小中学校の具体的な取り組みを紹介していきたい。
また、中学校では来年度より部活動の地域展開が予定されているため、その点についても取り上げていきたい。
 - (5) 視聴者参加型企画について
カラオケ大会やプレゼント抽選会など、視聴者と直接関わる番組が増えており、非常に良い企画であり今後も期待している。
9. 清水会長 閉会あいさつ
ケーブルテレビは、さまざまな業種と連携することで地域全体の活性化に寄与することを目的として設立された。現在は「第二の創業期」とも言える重要な時期にあり、地域にとってなくてはならない存在となることが求められている。今後も地域の皆様を支える企業であることを強く意識し、番組制作に取り組んでほしい。

以上